

地域コンテンツの発信と インバウンドの連携

平成26年12月9日(火)

文化庁

地域コンテンツの発信とインバウンドの連携①

「知的財産推進計画2014」記載内容

海外からの日本コンテンツのファンの誘致、海外のアーティストやクリエイター等の我が国での活動促進、海外からのロケ撮影の誘致等を進めるべく、地域資源、ファッション、食文化等の発信や、ハラル対応を含めたビジット・ジャパン事業との連携等、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組に合わせ、必要な措置を講じる。(短期)

地域資源を活用して日本の多様な魅力を発信するため、全国各地でのフィルムコミッションなどとの連携やロケ地情報の集約・提供などを通して、地域でのロケ撮影の受け入れ体制整備を推進する。(短期)

対応

○海外映画祭への出品等支援

日本映画の海外映画祭への出品に対する支援

【平成26年度主な実績】

・第38回アヌシー国際アニメーション映画祭(フランス)にて西久保瑞穂監督作品「ジヨバンニの島」が長編部門で審査員特別賞を受賞。

【平成25年度主な実績】

・第66回カンヌ国際映画祭(フランス)にて是枝裕和監督作品「そして父になる」がコンペティション部門で審査員賞を受賞。

・第64回ベルリン国際映画祭(ドイツ)にて山田洋次監督作品「小さいうち」がコンペティション部門にノミネートされ、女優の黒木華が最優秀女優賞(銀熊賞)を受賞。

○芸術家・文化人等による文化発信推進事業—文化庁「文化交流使」の派遣等—

著名な芸術家、文化人等を世界各国に「文化交流使」として派遣し、日本文化紹介活動を展開。

平成26年度は、食文化研究者や和太鼓奏者、漆芸家等、8名を諸外国へ派遣。

○ロケーションに係るデータベースの運営

各地フィルムコミッションの持つ情報を集約したデータベースを作成しインターネット上で公開

【平成25年度実績】

・ロケ地情報データ登録件数: 5,963件(平成25年度末現在)

・アクセス件数: 67,069件



日本映画の振興

(26年度予算額 851百万円)
27年度要求額 851百万円

多くの人々に支持され親しまれている総合芸術であり、かつ海外への日本文化発信の有効な媒体である日本映画の振興を図る。

日本映画の創造・交流・発信

要求額 690百万円 (690百万円)

- ①日本映画製作支援事業【537百万円】
優れた日本映画の製作活動に対する支援
- ②ロケーションに係るデータベースの運営【19百万円】
各地フィルムコミッションの持つ情報を集約したデータベースを作成しインターネット上で公開
- ③文化庁映画賞【10百万円】
・日本映画界で顕著な業績をあげた者の顕彰
・優れた文化記録映画作品の顕彰及び上映会
- ④海外映画祭への出品等支援【71百万円】
日本映画の海外映画祭への出品に対する支援
- ⑤全国映画会議【15百万円】
映画界をとりまく課題等に関して関係者が意見交換を行うシンポジウムの実施
- ⑥アジアにおける日本映画特集上映事業【31百万円】
アジア諸国において日本映画の特別上映や人材育成につながる交流事業を実施
- ⑦「日本映画情報システム」の整備【7百万円】
日本映画に関する情報を集約したデータベースを作成しインターネット上で公開

自律的な創造サイクルの確立

人材の育成と社会的認知の向上

若手映画作家等の育成

要求額 161百万円 (161百万円)

- ①短編映画作品支援による若手映画作家の育成【120百万円】
ワークショップや実際の短編映画作品の制作を通して、若手映画作家等に映画製作に必要な技術・知識の習得機会を提供
- ②映画関係団体等の人材育成事業の支援【41百万円】
映画製作現場における学生の実習(インターンシップ)受入れの支援



映画フィルムの保存・継承

我が国の映画フィルムの保存・継承

東京国立近代美術館フィルムセンター

我が国の存在感を高める日本映画の振興と日本文化の理解の促進

➤ 芸術家、文化人等を「文化交流使」に指名、世界の人々への日本文化への理解の深化、日本と諸外国における文化人のネットワークの形成・強化につながる活動を支援

●海外派遣型

日本の芸術家、文化人が一つもしくは複数の国に一定期間滞在し、日本の文化に関する講演、講習や実演デモンストレーション等を行う。

	氏名	プロフィール	派遣国(予定を含む)
平成二十五年 度	武田 双雲	書道家	ベトナム, インドネシア
	土佐 信道	アーティスト	フランス
	挾土 秀平	左官技能士	米国
	長谷川 祐子	キュレーター(学芸員)、 大学教授	フランス, UAE, モロッコ, チェコ, アルメニア等
	平尾 成志	盆栽師	リトアニア, イタリア, フランス, オ ランダ, アメリカ, メキシコ等
	森山 開次	ダンサー、振付家	インドネシア, ベトナム, シンガ ポール
	森山 未来	俳優	ベルギー, イスラエル, イギリス, スウェーデン等
	レナード 衛藤	和太鼓奏者	イタリア, ドイツ, スイス, チュニ ジア, ポルトガル, インド等

	氏名	プロフィール	派遣国(予定)
平成二十六年 度	岡田 利規	演劇作家・小説家	中国, 韓国, タイ
	櫻井 亜木子	琵琶演奏家	アメリカ, エルサルバドル, グアテ マラ, ブラジル等
	中澤 弥子	長野県短期大学教授	フランス, ドイツ, ポーランド, ハン ガリー, イタリア, スロバキア, イギ リス
	林 英哲	太鼓奏者	アメリカ, トリニダード・トバゴ, キューバ
	林田 宏之	CGアーティスト	サウジアラビア, ヨルダン, レバノ ン, クウェート等
	平野 啓子	語り部・かたりすと	ドイツ, トルコ
	山井 綱雄	金春流能楽師	カナダ, アメリカ, フランス
	若宮 隆志	「彦十蒔絵」代表	イギリス, フランス, 中国



森山開次氏(ダンサー・振付家)によるパフォー
マンスの様子(シンガポール)



レナード衛藤氏(和太鼓奏者)による現地ダン
サーとの共同公演(ドイツ)

○前年度度限りの経費(短期指名型)

文化庁「国際芸術交流支援事業」により、海外に派遣される文化・芸術団体が、海外の学校等で実演・ワークショップ等を実施する。

地域コンテンツの発信とインバウンドの連携②

「知的財産推進計画2014」記載内容

地域におけるコンテンツ関連産業の集積や我が国の伝統文化との融合、海外からのクリエイター等の招致等により、世界に通用するコンテンツを創造する開発拠点を整備し、海外に発信する自治体や民間での取組を支援する。(短期)

対応

海外から招へいした外国人芸術家の創作活動拠点の構築や、海外の優秀な若手クリエイター等を招へいし、研修・研究の機会を提供する取組や、国内の関連施設・教育機関・企業等の連携の拠点構築等を支援。また、地方公共団体による文化芸術の創造発信事業を支援。

・文化芸術グローバル化推進事業(新規)

2020年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピック競技大会を、スポーツのみならず文化の祭典として、世界中の注目を集め、日本全国で特色ある文化活動が行われる大会にするとともに、同大会終了後も文化芸術による地域の活性化や訪日外国人の増加など、その成果が継承されるよう地方公共団体が行う、地域の文化資源等を活用し計画的な文化芸術活動を支援

・文化芸術の海外発信拠点形成事業

外国人芸術家等の受入れにより行う国際的な文化芸術創造など特色ある国際文化交流事業(アーティスト・イン・レジデンス事業)を支援し、日本各地における文化芸術創造と国際的発信の拠点づくりを推進する。

・海外メディア芸術クリエイター等招へい事業

海外の優秀な若手クリエイター等を招へいし、研修・研究の機会を提供

文化芸術グローバル化推進事業

(新規)
27年度要望額 3,752百万円

2020年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピック競技大会を、スポーツのみならず文化の祭典として、世界中の注目を集め、日本全国で特色ある文化活動が行われる大会にするとともに、同大会終了後も文化芸術による地域の活性化や訪日外国人の増加など、その成果が継承されるよう地方公共団体が行う、地域の文化資源等を活用し計画的な文化芸術活動を支援

補助率: 1/2を上限に支援

支援対象の文化芸術活動

文化芸術創造都市としての取組

文化芸術の持つ創造性を地域振興、観光・産業振興等に活用し、地域課題の解決に取り組む「文化芸術創造都市」の取組

(取組例)

- ・国際的な芸術祭、音楽祭、写真展



文化芸術により地域を活性化する取組

地域の様々な魅力ある文化芸術を再生又は創出し発展させる取組や、大学との連携による文化芸術の創造発展につながる取組をはじめ、地域の文化芸術の担い手の育成につながる取組

(取組例)

- ・地域の音楽、踊り、演劇の公演、ワークショップ、アウトリーチ
- ・メディア芸術の展示、地域の文化資源を活用した現代アート展
- ・地域の大学教員、学生、卒業生等によるオペラ、オーケストラ公演、美術展

訪日外国人が鑑賞・体験できる取組

東京オリンピック・パラリンピック競技大会の文化プログラムを見据えた文化事業や、多言語対応等により日本人に限らず訪日外国人でも鑑賞・体験できる文化事業

(取組例)

- ・能楽、文楽、歌舞伎等の伝統芸能や、日本で創造された音楽、美術、演劇、舞踊等の公演、ワークショップ
- ・多言語に対応した演劇、ミュージカル等の公演、ワークショップ

新国立劇場との連携公演

新国立劇場が制作する世界水準の公演の鑑賞事業や、新国立劇場において地域のプロの芸術団が行う公演



1. 文化芸術による地域活性化
2. 地域文化の国際発信
3. 文化芸術によるインバウンドの増加

文化の力による心の復興の取組

東日本大震災の被災地における、実演芸術の鑑賞等を通じた心の安らぎと活力の向上を図る取組



文化芸術の海外発信拠点形成事業

(26年度予算額 130百万円)
27年度要求額 110百万円

事業目的

異文化交流の担い手となる外国人芸術家の積極的受け入れや、国際的な文化芸術創造など各地域において取り組まれている特色ある国際文化交流事業（アーティスト・イン・レジデンス等）を支援することにより、日本各地に文化創造と国際的発信の拠点づくりを推進する。



事業内容

アーティスト・イン・レジデンス事業

平成26年度採択件数：22件

○ **外国人芸術家を招へいして行う滞在型の芸術創造支援プログラム【必須】**（いわゆる、アーティスト・イン・レジデンスプログラム）及びそれに附随して実施される下記の事業に対して支援を行う。

- 外国人研究者・学芸員を招へいして行う滞在型の我が国文化芸術の研究支援プログラム
- 優れた外国人芸術家を招へいして行う滞在型の国内外若手芸術家の教育プログラム等
- 招へいした外国人芸術家を実施する創作作品の発表、共同創作活動、講演会・セミナー・ワークショップ・シンポジウム等
- アーティスト・イン・レジデンスの連携強化のためのセミナー・シンポジウム等
- 国際展等の国際芸術フェスティバルにおいて、外国人芸術家を招へいして行う滞在型の芸術創造、展覧会・公演等のプログラム
- アーティスト・イン・レジデンス事業を行うにあたり、必要な専門スタッフの人材育成プログラム
- 芸術系大学等教育機関等との連携により行われる共同創作、展覧会・公演等のプログラム

期待される効果

- 文化芸術の国際的な創造活動の場としての地位の確保及び対外発信強化
- 文化芸術による相互理解と国際交流
- 地域活力の創出と産業振興



外国人芸術家の滞在制作風景
(遊工房アートスペース・杉並区)

実施事例



外国人芸術家によるワークショップ
(アーカスプロジェクト・茨城)

海外メディア芸術クリエイター等招へい事業

事業の目的 海外の優れたクリエイターを招へいし、メディア芸術における国際交流を推進するとともに、交流機会を通じた国内クリエイターの育成を促し、日本のメディア芸術水準の向上と発展を図る

クリエイターの公募・選定

(公募・告知) 海外の映像教育機関、国際的主要映画祭に告知・広報を行う
(選定) 提出書類や制作企画、過去の作品を、有識者による選定委員会にて審査
これまでの応募数：【H24】43ヶ国 112名、【H25】60カ国 274名

応募資格

・20～35歳、英語又は日本語でのコミュニケーションが可能
・過去に作品が、自国以外の国際映画祭で上映されたことがある、等

主な支援内容

渡航費、滞在費、住居、制作スペース、研修会、日本のクリエイターや学生との交流機会、等

3名 選定 平成24年度：ケレブ・ウッド(アニメーション・アメリカ)、エマ・ドゥ・アウワーフ(アニメーション・ベルギー)、エリ・ウオリネン(アニメーション・フィンランド)
平成25年度：ミヒヤエル・フライ(アニメーション・スイス)、オフラ・コフリネル(アニメーション・イスラエル)、トマーシュ・ホパク(アニメーション・ポーランド)

滞在プログラム

研修会

招へいアーティストに対して、日本のトップクリエイターや指導者による研修や、制作現場の訪問などを実施する



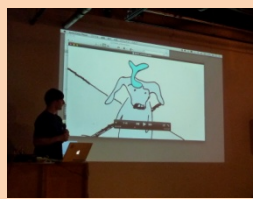
アニメーション作家の
アトリエ訪問



制作への指導

上映&企画プレゼンテーション

招へいアーティストが、アニメーション関係者や学生に対して、過去の作品や、滞在制作の企画や制作過程を紹介したり、ディスカッションを行う



企画プレゼンテーション



ディスカッション

交流

アニメーション関連のイベントへの参加や、教育機関において若手クリエイターを対象にした自作解説やディスカッションを行う



国内クリエイターとの交流



トークセッション

トップクリエイター間の
人材交流・情報交流

日本の若手クリエイター
に刺激を与える

成果発表会

作品の一部もしくは全体について、絵コンテ、ビデオコンテンツなどを用いて日本滞在中の制作成果を発表



完成作品の展開

- ・日本国内において、上映・展示・放送などによる展開を図る
- ・招へいクリエイターによる、自国または国際的な場における当該作品の発表を通じて、本事業の有意義性を世界に発信し、日本のメディア芸術の国際的地位向上を図る。